



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月に開催
期末配当金基準日	毎年2月末日
中間配当金基準日	毎年8月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 (お問い合わせ先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告といたします。
公告掲載URL	http://www.poplar-cvs.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	7601

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんので、ご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 除斥期間満了前の未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになれる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

当社ホームページのご紹介

<http://www.poplar-cvs.co.jp/>

当社に関する様々な情報を公開しております。



平成23年11月発行



第37期 中間報告書

平成23年3月1日から平成23年8月31日まで





地域に密着した安全で品質の高い商品開発やサービスの提供など、お客様目線で魅力あるお店づくりを目指してまいります。

代表取締役社長 目黒 真司

Q1 当中間期の業績について教えてください。

A1 昨年の増税以降は売上が好調であること、6月以降は気温が高めで推移したこと、などから当第2四半期連結累計期間の業績は、チェーン全店売上高47,747百万円（前年同期比3.2%増）、営業総収入30,017百万円（同2.8%増）、営業利益449百万円（同52.2%増）、経常利益472百万円（同48.9%増）となりました。また、資産除去債務に係る特別損

失840百万円を計上したことなどにより、四半期純損失458百万円（前年同期実績：四半期純利益73百万円）となりました。

Q2 当中間期の取り組み施策について教えてください。

A2 商品面では、原材料調達を集約、新たな製法の導入などを行い、オリジナルデザート「プチ・パティシエ」やオリジナルパン「ベーカリーストリート」などのPB商品

の拡充と品質の向上に取り組み、新規顧客層の開拓を進めてまいりました。ポプラのオリジナルである炊きたてご飯を盛りつけた「ポップ弁」に関しても、おかずの原材料を見直すなど内容の充実を図り、お客様に愛されるお弁当の開発を進めました。また、フライヤーの導入促進により、揚げたて総菜と炊きたてご飯を組み合わせた“できたて弁当”の取り扱い店舗を拡大してまいりました。

サービスや販促面では、新規顧客およびリピーターの来店促進や顧客満足度向上のためモバイルサイトを立ち上げ、お得なクーポン情報や生活に役立つ様々な情報の配信を開始いたしました。

店舗展開については、当社独自の売上ロイヤリティ制度の優位性を活かし、モノレール駅構内店舗「モノウェル千里中央店」「モノウェル門真店」や大学内店舗「神戸女子大学須磨店」「福山平成

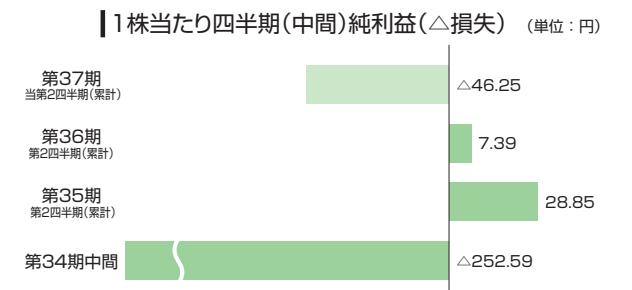
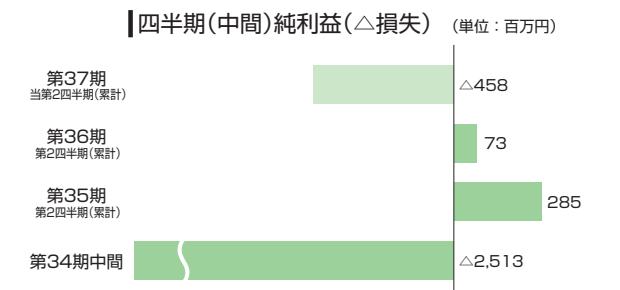
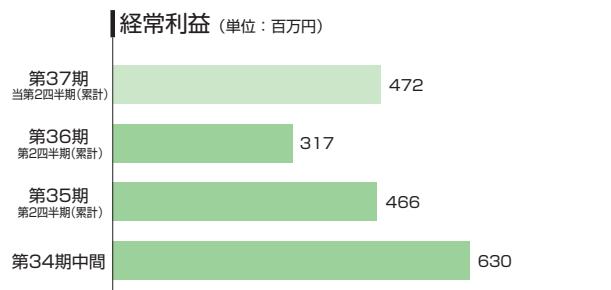
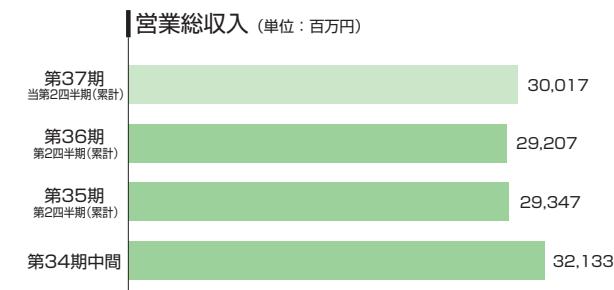
大学店」、ホテル内店舗「マロウドホテル成田店」「ヒルトン成田店」などの限定商圏へ積極的に出店を進めました。

Q3 今後の見通しや取り組み施策について教えてください。

A3 世界的な景気の停滞や円高に伴い、10月以降も個人消費は低調に推移すると思われる。このような状況において、売上と利益を達成していくには来店客数の増加が必須であると判断しており、下期は商品の品質向上を最重要課題として取り組むとともに、新たな商品の提案やサービスの提供など、お客様に満足いただけるお店づくりを行ってまいります。

また、上期に引き続き限定商圏への出店を促進するとともに、9月より開始した西日本地域での商品供給事業の拡大に取り組んでまいります。

財務ハイライト



共同開発商品

ポプラは「立地にあわせてお店づくり」を推進し、地域のお客様に愛されるコンビニエンスストアを目指していくため、これからも魅力ある商品開発を進めてまいります。

- ㊦ 麻婆風ひき肉おむすび
- ㊦ 蒸し鶏と梅のさっぱりおむすび
- ㊦ 味噌汁風焼おむすび

販売期間
2011年7月15日～
2011年8月11日

比治山大学短期大学部(広島県広島市)の未来の栄養士を目指す学生を対象におむすびのレシピコンテストを開催し、大塚食品㈱のマンナンヒカリを使用したおむすび3品を商品化しました。

麻婆風ひき肉おむすび



蒸し鶏と梅のさっぱりおむすび



味噌汁風焼おむすび



ポトラム“わ”ぱるふえ

販売期間
2011年7月15日～
2011年7月29日

富山ライトレール㈱のアテンダントさん監修のもと、ライトレールの沿線にある老舗佐々木千歳堂(富山銘菓)と共同開発したデザートです。日々お客様に接しているアテンダントさんのこんなスイーツをお客様に食べてもらいたいという思いをパフェにしました。



Topics

モバイルサービスをスタート

㈱GNTが運営するソーシャルメディア『mobion(モビオン)』において、ポプラグループのコンビニエンスストア(「ポプラ」「生活彩家」「くらしハウス」「スリーエイト」)のモバイルサービスを2011年7月5日より開始しました。会員登録をすることで、店舗の新商品情報やお得なクーポン情報を取得でき、また店舗検索を行うことも可能です。その他、着メロ・着うた、デコメ、ゲーム、占い、ニュースなどのコンテンツサービスもご利用いただけます。

■ サービス概要
<http://n.mobion.jp/poplar>
〈対応機種〉
[docomo] FOMAシリーズ
[au] WINシリーズ
[SoftBank] 3Gシリーズ
[スマートフォン]

※一部機種には対応していません。

『三角サンドイッチ』を
リニューアル

2011年5月17日

サンドイッチの食パン自体の保湿性を改良すると同時に食パンのカットに「丸刃スライサー(一部地区にて先行導入)」を使用することで、より「しっとりなめらか」な食感を実現しました。また、鮮度の高いパン生地を使用することで、さらにおいしく仕上がりました。

『2011年版おでん』
の発売

2011年8月23日

今年のおでんは、昨年までの『うまコク極みだし』そのままに、さらにおいしく進化させた『うまコク極みだし(トリブルスープ仕立て)』が特徴です。魚介・肉・野菜を絶妙に合わせた琥珀色のスープは深みとコクがありつつも、後味すっきりのダシに仕上げています。

『肉まん』
の発売

2011年8月16日

今年のおでんは、生練製法から炒め製法に変更したことで、具材のコクととろみ感をアップしました。また、豚バラ肉を使用し肉使用比率をアップして、具材感のある肉まんに仕上げられています。

限定商圏や小規模店舗でも経営を可能にする当社独自の売上ロイヤリティ制度による店舗運営の自由度を活かし、ホテル・大学・駅などの様々な立地への出店を推進してまいります。

生活彩家

グランドプリンスホテル広島店
(広島県)

「グランドプリンスホテル広島」内にオープンし、ニーズに合わせた売れ筋商品を中心に、地元の地産地消商品のお土産品類・お酒やおつまみ・たばこなども取り揃え幅広い需要に対応しております。



2011年
3月4日
オープン

神戸女子大学須磨店
(兵庫県)

神戸女子大学須磨キャンパス内施設1階にオープンし、通常のコンビニ商品のほか、2台のカラーコピー機を設置するなど、大学立地に合わせたサービスを取り揃え、「生活彩家」のコンセプトのとおり「大学生活を彩るお店」として学生や教職員の皆様の利便性を高めております。



2011年
4月1日
オープン

ポプラ

ペラポート
福岡店
(福岡県)

2011年
4月15日
オープン

ポートレース福岡外向発売所「ペラポート福岡」1階にオープンし、通常の品揃えに加えて、フライドチキンなどのファーストフードも取り揃えています。お買い上げいただいた商品は、店舗一角にある飲食コーナーと隣接するウッドデッキで気軽にお召し上がりいただけます。また、お客様の利便性向上のためATMも設置しています。



その
1

「東日本大震災」被災地の皆様への支援

ポプラグループは、3月14日から5月31日までの間、店頭での義援金募金活動の実施や、おむすびの売上の一部を義援金として拠出するなど被災地支援に取り組んでまいりました。義援金の総額は41,765,331円となり、被災された皆様の支援に役立てられます。

<義援金の内訳>

●店頭募金 **38,007,313円**

※5月1日より鳥取県・島根県のポプラ店頭に設置したBSS山陰放送「ラッテちゃん東日本大震災募金」への募金737,000円を含む。

●おむすび義援金 **3,758,018円**

その
2

節電への取り組み

新規店舗より新デザインの看板を採用したなかで、ファサード看板の照明のLED化や、店内照明への調光システム導入など消費電力の削減を進めてまいりました。

また、東日本大震災に伴う節電対応といたしまして、ポプラグループ全店で3月14日の夕刻よりポール看板およびファサード看板を消灯するライトダウンの実施、関東地区の自社弁当製造工場・商品配送センター・事務所・店舗において、空調設備温度の変更・照明の間引き点灯などの節電対策を実施してまいりました。



四半期連結貸借対照表

科 目	当第2四半期末		前期末	
	平成23年8月31日現在		平成23年2月28日現在	
【資産の部】				
流動資産				
現金及び預金	3,910	2,515		
受取手形及び売掛金	254	182		
商品及び製品	1,451	1,491		
原材料及び貯蔵品	33	32		
その他	1,350	1,461		
貸倒引当金	△ 4	△ 4		
流動資産合計	6,996	5,678		
固定資産				
有形固定資産				
自有有形固定資産				
建物及び構築物（純額）	2,460	2,412		
土地	3,246	3,246		
その他（純額）	448	470		
自有有形固定資産合計	6,155	6,129		
貸与有形固定資産				
建物及び構築物（純額）	1,527	1,413		
土地	454	454		
その他（純額）	147	156		
貸与有形固定資産合計	2,129	2,025		
有形固定資産合計	8,284	8,154		
無形固定資産	184	144		
投資その他の資産				
敷金及び保証金	3,234	3,426		
その他	741	864		
貸倒引当金	△ 140	△ 150		
投資その他の資産合計	3,835	4,139		
固定資産合計	12,305	12,439		
資産合計	19,301	18,117		

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期末		前期末	
	平成23年8月31日現在		平成23年2月28日現在	
【負債の部】				
流動負債				
支払手形及び買掛金	3,384	2,774		
加盟店買掛金	1,619	1,444		
預り金	1,567	1,676		
未払法人税等	76	127		
賞与引当金	92	95		
その他	1,289	1,182		
流動負債合計	8,030	7,300		
固定負債				
リース債務	227	244		
退職給付引当金	260	251		
長期預り金	2,074	2,133		
資産除去債務	1,047	—		
その他	133	143		
固定負債合計	3,744	2,772		
負債合計	11,774	10,073		
【純資産の部】				
株主資本				
資本金	2,410	2,410		
資本剰余金	2,650	2,650		
利益剰余金	2,535	3,042		
自己株式	△ 92	△ 92		
株主資本合計	7,503	8,011		
評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金	23	33		
評価・換算差額等合計	23	33		
純資産合計	7,527	8,044		
負債純資産合計	19,301	18,117		

point ① 売上高

6月以降は気温が高く推移したこと、フライヤー商材の売上が好調に推移したこと、および昨年の増税に伴うたばこの売上の増加に伴い、前年同期比3.3%の増加となりました。

point ② 販売管理費

これまで取り組んできた効率の追求およびコストの削減をさらに進めた結果、前年同期比1.3%の減少、104百万円の削減となりました。

point ③ 営業利益

チェーン全店売上が前年同期を3.2%上回ったことから、直営店売上ならびに加盟店からの収入を含む営業総収入が増加いたしました。これに加え販売管理費が減少したことから、営業利益は前年同期に対し154百万円の増加（前年同期比52.2%増）となりました。

point ④ 特別損失

会計基準の変更に伴い「資産除去債務に関する会計基準」の適用による特別損失840百万円を計上しております。内容は当社グループ店舗等の不動産賃貸契約終了時における原状回復費用について引当てたものです。

四半期連結損益計算書

科 目	当第2四半期（累計）		前第2四半期（累計）	
	平成23年3月1日から平成23年8月31日まで		平成22年3月1日から平成22年8月31日まで	
売上高	27,726	26,839		
営業収入	2,290	2,368		
売上原価	21,723	20,962		
営業総利益	8,294	8,244		
販売費及び一般管理費	7,844	7,948		
営業利益	449	295		
営業外収益	36	36		
営業外費用	13	14		
経常利益	472	317		
特別利益	79	72		
特別損失	906	159		
税金等調整前四半期純利益（△損失）	△ 354	230		
法人税、住民税及び事業税	54	47		
法人税等調整額	49	109		
少数株主損益調整前四半期純損失	△ 458	—		
四半期純利益（△損失）	△ 458	73		

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	当第2四半期（累計）		前第2四半期（累計）	
	平成23年3月1日から平成23年8月31日まで		平成22年3月1日から平成22年8月31日まで	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,556	△ 1,434		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 80	△ 130		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 80	△ 150		
現金及び現金同等物の増減額（△減少）	1,395	△ 1,716		
現金及び現金同等物の期首残高	2,515	5,093		
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,910	3,377		

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

(平成23年8月31日現在)

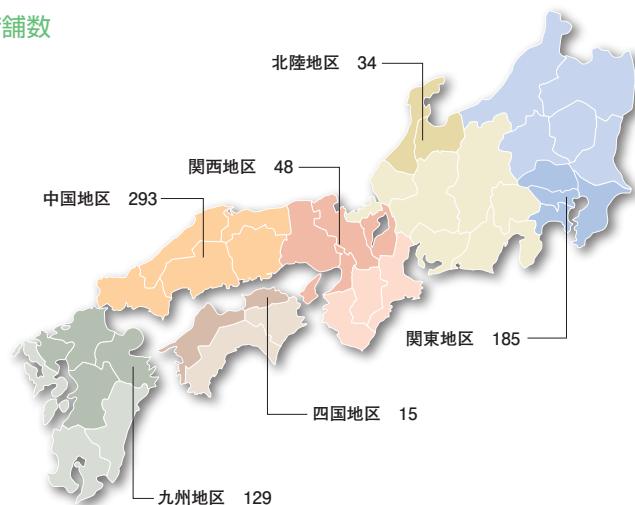
社名	株式会社ポプラ
本社	〒731-3395 広島市安佐北区安佐町大字久地665-1
資本金	24億1,013万7,725円
設立	昭和51年(1976年)4月20日
チェーン店舗数	704店舗
従業員数	620名
事業内容	当社は、フランチャイズチェーンシステムによるコンビニエンスストアの経営を主要業務として営んでおります。

主な子会社

会社名	資本金(千円)	出資比率(%)	主要な事業内容
大黒屋食品株式会社	10,000	100	食品製造卸事業
株式会社キリン堂薬局	12,000	100	ドラッグストア事業
ポプラ保険サービス有限会社	3,000	(注)100(73.3)	保険代理店事業
株式会社ポプラ不動産企画	1,000	100	不動産管理事業

(注) 出資比率には、間接所有分()を含めて記載しております。なお、その内訳は、当社26.6%、大黒屋食品株式会社36.7%、株式会社キリン堂薬局36.7%となっております。

店舗数



当中間期の新規開設店舗

グランドプリンスホテル広島店(広島県)	岡山空港店(岡山県)
神戸女子大学須磨店(兵庫県)	モノウェル千里中央店(大阪府)
モノウェル門真店(大阪府)	熊本弓削病院店(熊本県)
NF家庭裁判所店(東京都)	ペラポート福岡店(福岡県)
五月が丘入口店(広島県)	出雲医大南町店(島根県)
シナガワグース店(東京都)	新高島平駅前店(東京都)
JA三徳店(鳥取県)	福山平成大学店(広島県)
深川佐賀店(東京都)	たまがわ店(山口県)
秀和総合病院店(埼玉県)	プロロジス川島店(埼玉県)
マロウドホテル成田店(千葉県)	ヒルトン成田店(千葉県)

株式の状況

(平成23年8月31日現在)

発行可能株式総数	36,160,072株
発行済株式の総数	10,040,018株
株主数	8,747名

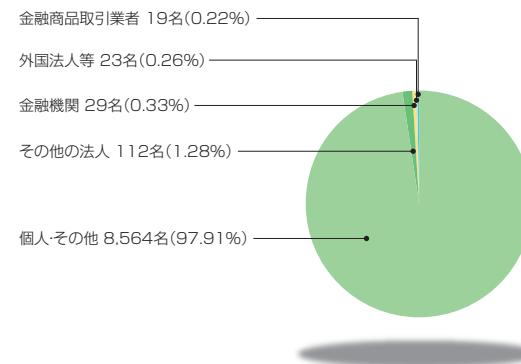
第36期期末に比べ、893名増加しました。

大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
目黒 俊治	2,804,944 株	28.31 %
ポプラ協栄会	1,452,409	14.66
ポプラ社員持株会	331,131	3.34
株式会社広島銀行	212,960	2.14
日本生命保険相互会社	207,460	2.09
株式会社もみじ銀行	172,934	1.74
東京海上日動火災保険株式会社	159,720	1.61
三菱UFJ信託銀行株式会社	133,100	1.34
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (りそな銀行再信託分・株式会社もみじ銀行退職給付信託口)	125,800	1.26
三菱食品株式会社	124,525	1.25

(注) 1. 当社は自己株式133,986株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況



所有者別株式分布状況

